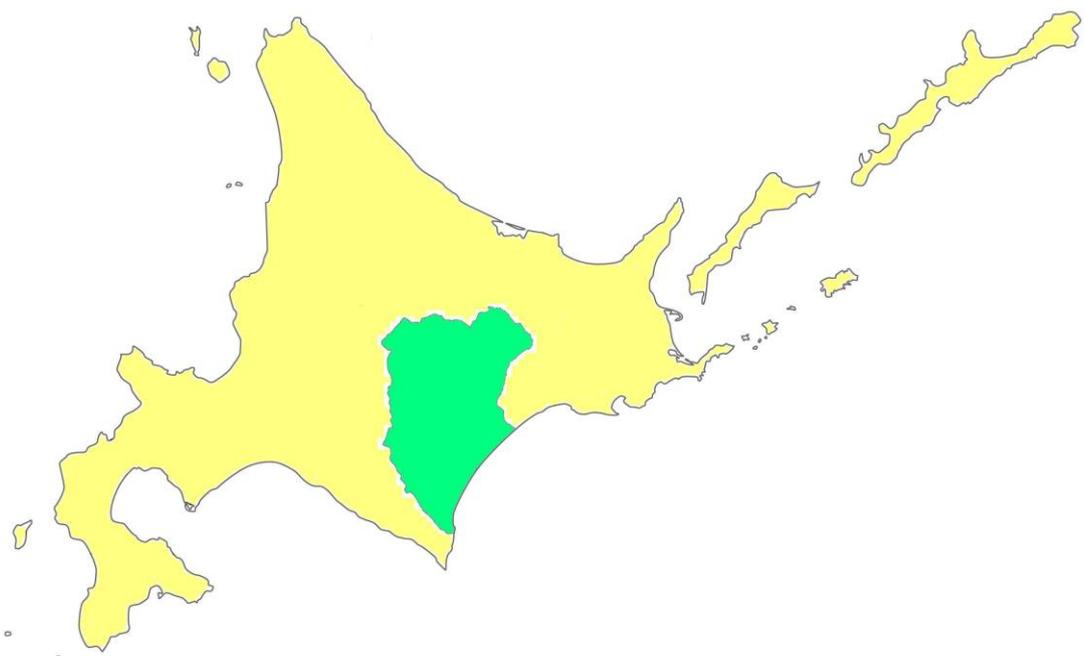


とがち経済情報

令和7年2月発行

(令和6年10~12月)



財務省 北海道財務局
帯広財務事務所



URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/obihiro/>
希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

目 次

	ページ
十勝経済の北海道経済に占める位置	1
主要経済指標（前年同月比等）の動向	2
と か ち 経 済 の 概 況 	3
1. 生 乳 生 産 	4
2. 公 共 事 業 	5
3. 住 宅 建 設 	6
4. 個 人 消 費 	7
5. 雇 用 情 勢 	8
6. 観 光 	9
7. 金 融 	10
8. 企 業 倒 産 	11
企業・関係団体の生の声.....	12

【利用上の注意】

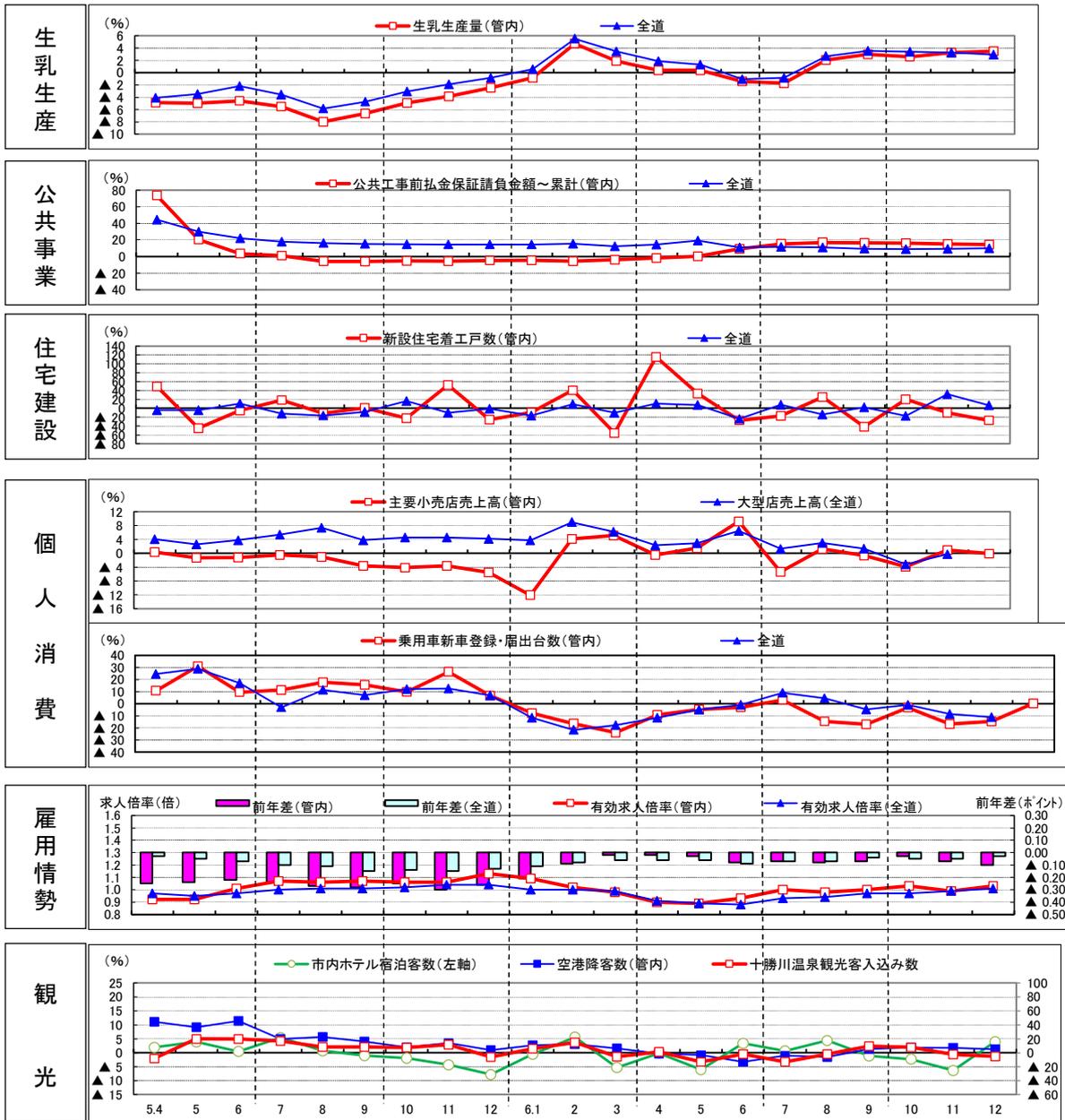
- ・数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- ・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。
- ・符号の用法は次のとおりである。
「0」～単位未満 「－」～該当数値なし 「p」～速報数値 「r」～改定数値

十勝経済の北海道経済に占める位置

区 分	単位	十勝管内	全 道	全道比	摘 要
1. 面積・人口					
・ 面 積	km ²	<u>10,832</u>	<u>83,422</u>	<u>13.0%</u>	国土地理院(6.10.1) 住民基本台帳(6.12末)
・ 人 口	人	<u>321,292</u>	<u>5,045,338</u>	<u>6.4%</u>	
・ 人 口 密 度	人/km ²	<u>29.7</u>	<u>60.5</u>	—	
2. 経 済 構 造					
・ 就 業 者 数	人	159,851	2,347,270	6.8%	国勢調査(令和2年)
第一次産業	人	22,932	156,298	14.7%	
第二次産業	人	26,455	387,947	6.8%	
第三次産業	人	104,628	1,738,586	6.0%	
・ 事 業 所 数	事業所	15,741	216,124	7.3%	経済センサスー活動調査確報(令和3年)
3. 農 業					
・ 農家(販売農家)戸数	戸	4,830	32,232	15.0%	農林業センサス 農林業経営体調査(2020年確定値) 北海道農林水産統計年報(令和5年) 十勝畜産統計(令和5年) 農林水産省・十勝総合振興局(令和5年度集計) 農林水産統計(令和5年) 十勝総合振興局(令和5年農協取扱高)
・ 耕 地 面 積	ha	254,500	1,141,000	22.3%	
・ 一戸当り耕地面積	〃	52.7	35.4	—	
・ 乳用牛飼育戸数	戸	1,110	5,380	20.6%	
・ 乳用牛飼育頭数	頭	244,287	842,700	29.0%	
・ 一戸当り乳用牛頭数	〃	220	157	—	
・ 肉用牛飼育戸数	戸	578	2,180	26.5%	
・ 肉用牛飼育頭数	頭	230,395	566,400	40.7%	
・ 一戸当り肉用牛頭数	〃	399	260	—	
・ 生 乳 生 産 量	百トン	12,599	41,788	30.1%	
・ 農 業 産 出 額	億円	<u>3,573</u>	<u>13,478</u>	<u>26.5%</u>	
耕 種	〃	<u>1,403</u>	<u>5,641</u>	<u>24.9%</u>	
畜 産	〃	<u>2,170</u>	<u>7,837</u>	<u>27.7%</u>	
4. 林 業					
・ 森 林 面 積	ha	689,137	5,537,208	12.4%	北海道林業統計(5.4.1)
・ 森 林 蓄 積 量	千m ³	124,597	862,633	14.4%	
5. 漁 業					
・ 海面漁業漁獲量	百トン	<u>903</u>	<u>11,349</u>	<u>8.0%</u>	北海道水産現勢(令和5年:属地統計)
・ 漁業生産額	億円	<u>86</u>	<u>2,916</u>	<u>2.9%</u>	
6. 工 業					
・ 製造事業所数	事業所	494	6,423	7.7%	経済構造実態調査 製造業事業所調査(2023年)
・ 製造従業者数	人	12,619	164,811	7.7%	
・ 製造品出荷額等	億円	5,555	66,413	8.4%	
7. 金 融					
・ 預 金	億円	17,078	376,336	—	銀行、信用金庫、信用組合の計(6.3末) — 銀行の全道分はゆうちょ銀行を含む
・ 貸 出 金	〃	8,706	159,944	—	
8. 地 方 財 政					
・ 歳 入	億円	<u>2,722</u>	<u>38,912</u>	<u>7.0%</u>	市町村普通会計決算(令和5年度)
・ 歳 出	〃	<u>2,653</u>	<u>38,191</u>	<u>6.9%</u>	

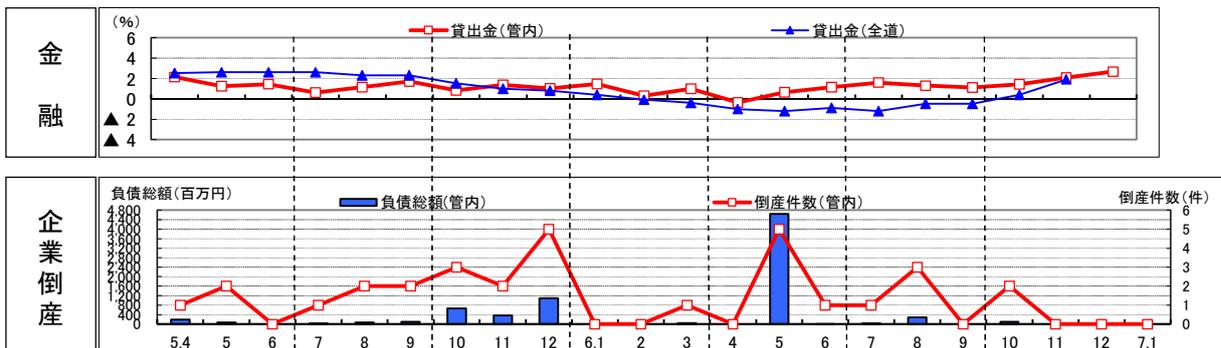
※下線は更新箇所

主要経済指標(前年同月比等)の動向



	5年4～6月期	5年7～9月期	5年10～12月期	6年1～3月期	6年4～6月期	6年7～9月期	6年10～12月期
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある
前回比較	↗	→	→	→	→	→	↗

【参考】



【 と か ち 経 済 の 概 況 】

管内経済は、持ち直しつつある。

【総括判断】

住宅建設は、前年を下回っている。一方で、個人消費、観光は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しており、生乳生産、公共事業は、前年を上回っている。

このように管内経済は、持ち直しつつある。

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、持ち直しの動きが続くことが期待される。

【総括判断の前回比較】

項 目	前回 6年7月～9月	今回 6年10月～12月	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	↗

【各項目の判断】

項 目	前回 6年7月～9月	今回 6年10月～12月	前回比較
生乳生産	前年同期を上回る	前年同期を上回る	⇒
公共事業	前年度累計を上回る	前年度累計を上回る	⇒
住宅建設	前年同期を下回る	前年同期を下回る	⇒
個人消費	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	⇒
雇用情勢	有効求人倍率は前年を下回る	有効求人倍率は前年を下回る	⇒
観 光	持ち直しの動きに一服感がみられる	緩やかに持ち直している	↗

【参 考】

金 融	貸出金残高は前年並み	貸出金残高は前年を上回る
企業倒産	負債総額は前年同期を上回る	前年同期を下回る

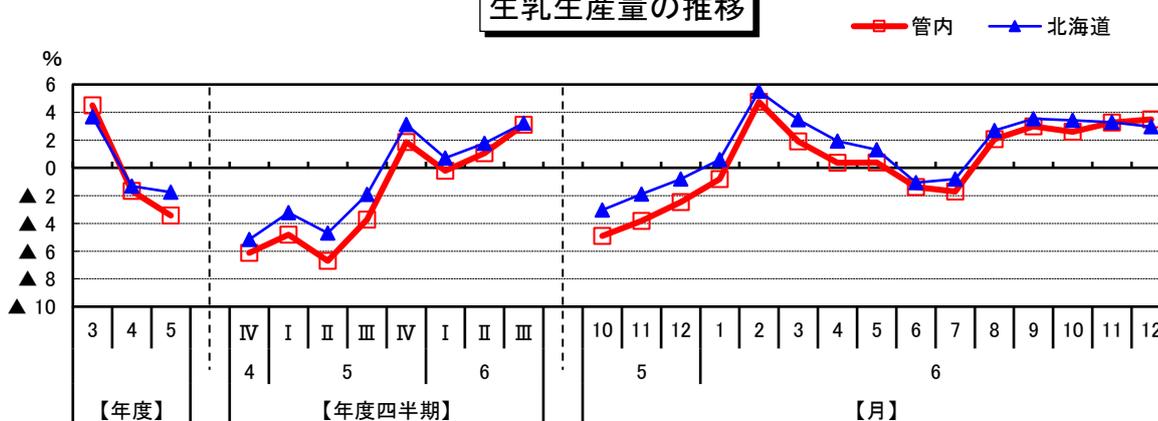
1. 生乳生産…前年同期を上回る

生乳生産量は、前年同期を上回っている。

生乳生産量 (単位:t、%)

年 月	生産量	前年比
3年度	1,326,869	4.5
4年度	1,304,861	▲ 1.7
5年度	1,259,914	▲ 3.4
5. 10~12	305,831	▲ 3.7
6. 1~3	317,001	1.8
4~6	325,362	▲ 0.2
7~9	314,298	1.0
10~12	315,333	3.1
6. 7	106,421	▲ 1.7
8	105,510	2.1
9	102,367	3.0
10	105,416	2.6
11	102,528	3.3
12	107,389	3.5

生乳生産量の推移



<資料：農林水産省、十勝総合振興局>

2. 公共事業…前年度累計を上回る

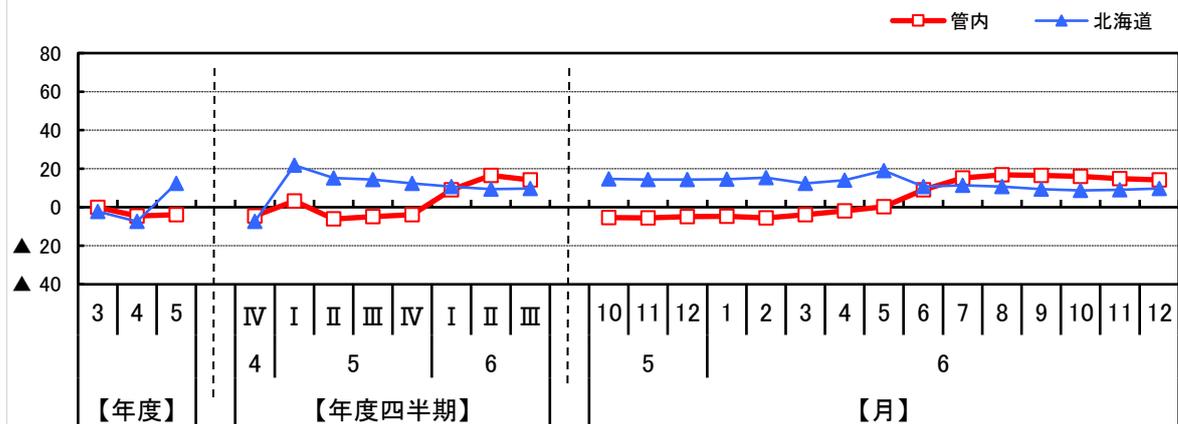
公共事業を前払金保証請負金額でみると、学校・病院等で増加したことから、前年度累計を上回っている。

前払金保証請負金額

(単位:百万円、%)

年 月	月間	前年比	累計	
			前年比	
3年度			65,398	▲ 0.0
4年度			62,452	▲ 4.5
5年度			60,041	▲ 3.9
5. 10~12	4,844	9.0	54,013	▲ 4.9
6. 1~3	6,028	6.8	60,041	▲ 3.9
4~6	37,591	9.0	37,591	9.0
7~9	19,674	34.1	57,265	16.5
10~12	4,392	▲ 9.3	61,657	14.2
6. 7	10,998	43.2	48,589	15.2
8	4,918	35.8	53,507	16.8
9	3,758	11.4	57,265	16.5
10	2,887	8.1	60,152	16.0
11	990	▲ 29.0	61,142	14.9
12	515	▲ 33.8	61,657	14.2

公共工事前払金保証請負金額推移(前年度累計比)



<資料：北海道建設業信用保証㈱>

3. 住宅建設…前年同期を下回る

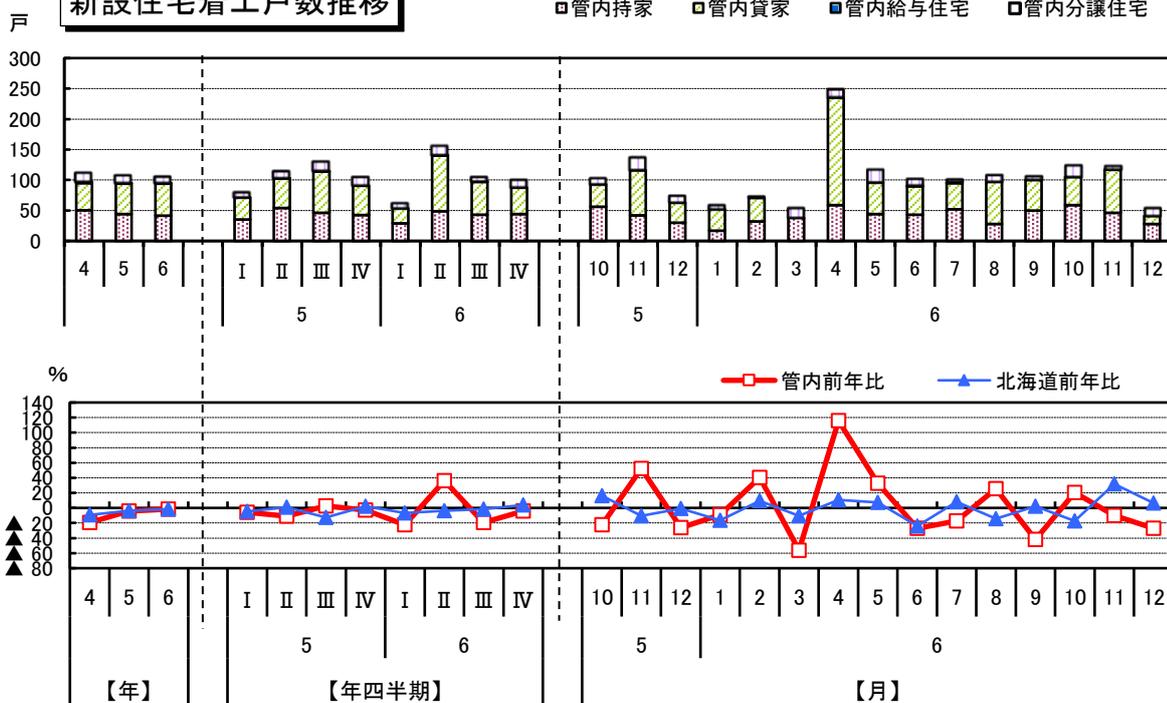
住宅建設を新設住宅着工戸数で見ると、持家は前年を上回ったものの、貸家等が前年を下回ったことから、全体では前年同期を下回っている。

新設住宅着工戸数(帯広市+3町)

(単位:戸、%)

年月	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
4年	1,343	▲ 19.5	608	▲ 24.2	532	▲ 25.5	27	80.0	176	28.5
5年	1,287	▲ 4.2	533	▲ 12.3	602	13.2	3	▲ 88.9	149	▲ 15.3
6年	1,269	▲ 1.4	496	▲ 6.9	641	6.5	2	▲ 33.3	130	▲ 12.8
5. 10~12	314	▲ 2.8	128	▲ 24.3	144	33.3	-	全減	42	▲ 6.7
6. 1~3	186	▲ 22.5	87	▲ 17.1	74	▲ 32.1	-	-	25	▲ 3.8
4~6	467	36.2	146	9.9	275	89.7	1	0.0	45	28.6
7~9	315	▲ 19.2	130	▲ 5.8	162	▲ 20.6	1	▲ 50.0	22	▲ 52.2
10~12	301	▲ 4.1	133	3.9	130	▲ 9.7	-	-	38	▲ 9.5
6. 7	101	▲ 17.2	52	4.0	43	2.4	1	0.0	5	▲ 82.8
8	108	25.6	28	▲ 41.7	69	165.4	-	全減	11	0.0
9	106	▲ 41.8	50	25.0	50	▲ 63.2	-	-	6	0.0
10	124	20.4	59	5.4	46	24.3	-	-	19	90.0
11	123	▲ 10.2	46	9.5	71	▲ 4.1	-	-	6	▲ 71.4
12	54	▲ 27.0	28	▲ 6.7	13	▲ 60.6	-	-	13	18.2

新設住宅着工戸数推移



(注) 年、四半期の戸数は月平均。

<資料: 国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

4. 個人消費…一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している

主要小売店売上高は、飲食料品は前年を上回っているものの、衣料品が前年を大幅に下回っていることから、全体では前年同期を下回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を下回っている。

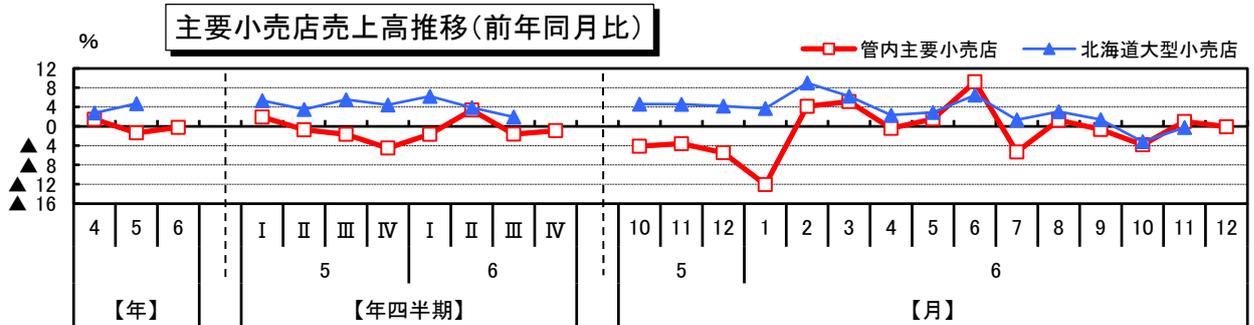
このように、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

個人消費

(単位:台、%)

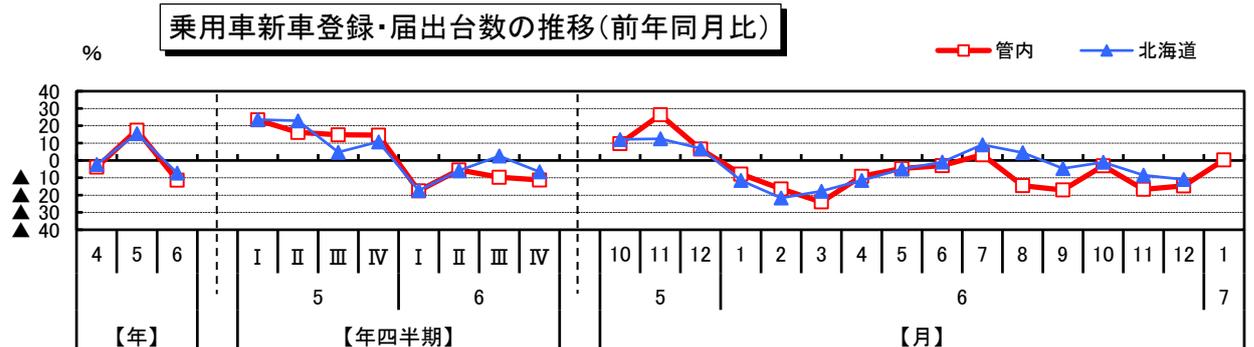
年月	主要小売店売上高			乗用車新車登録・届出台数							
	前年比			計		普通		小型		軽	
	合計	飲食料品	衣料品	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比
4年	▲ 1.5	▲ 1.8	▲ 4.5	8,548	▲ 3.9	3,116	▲ 4.5	2,315	▲ 4.6	3,117	▲ 2.7
5年	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 18.9	10,039	▲ 17.4	4,277	▲ 37.3	2,446	▲ 5.7	3,316	▲ 6.4
6年	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 13.0	8,890	▲ 11.4	3,809	▲ 10.9	2,056	▲ 15.9	3,025	▲ 8.8
5. 10~12	▲ 4.5	▲ 0.3	▲ 31.5	2,329	▲ 14.6	997	▲ 35.5	527	▲ 3.5	805	▲ 7.2
6. 1~3	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 22.1	2,437	▲ 17.6	1,008	▲ 25.2	575	▲ 13.7	854	▲ 9.4
4~6	▲ 3.4	▲ 2.4	▲ 8.1	2,170	▲ 5.5	957	▲ 0.2	519	▲ 15.7	694	▲ 4.4
7~9	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 16.6	2,217	▲ 9.7	898	▲ 8.1	542	▲ 14.9	777	▲ 7.7
10~12	▲ 0.9	▲ 3.0	▲ 18.5	2,066	▲ 11.3	946	▲ 5.1	420	▲ 20.3	700	▲ 13.0
6. 7	▲ 5.3	▲ 2.4	▲ 24.7	831	▲ 3.2	351	▲ 0.3	194	▲ 8.5	286	▲ 17.7
8	▲ 1.3	▲ 3.3	▲ 12.2	579	▲ 14.6	229	▲ 11.6	157	▲ 6.0	193	▲ 23.4
9	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 10.3	807	▲ 17.1	318	▲ 13.6	191	▲ 26.0	298	▲ 14.1
10	▲ 3.8	▲ 0.3	▲ 24.4	812	▲ 3.1	362	▲ 4.0	177	▲ 11.1	273	▲ 6.2
11	▲ 1.0	▲ 4.7	▲ 14.1	739	▲ 16.7	354	▲ 7.3	138	▲ 33.0	247	▲ 17.4
12	▲ 0.1	▲ 3.7	▲ 17.2	515	▲ 14.7	230	▲ 13.9	105	▲ 13.9	180	▲ 16.3
7. 1				723	▲ 0.3	363	▲ 17.5	148	▲ 10.3	212	▲ 14.2

(注) 主要小売店売上高について、令和5年2月以降対象先が1社減、令和5年8月以降対象先が1社減、令和6年7月以降対象先が1社減となったため、以前の数値とは連続性がない。



(注) 管内は主要小売店。北海道は百貨店と大型スーパーの合計（全店ベース）で、直近月は速報値。

<資料：北海道経済産業局、管内主要小売店>



<資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、帯広自動車販売店協会>

5. 雇用情勢…有効求人倍率は前年を下回る

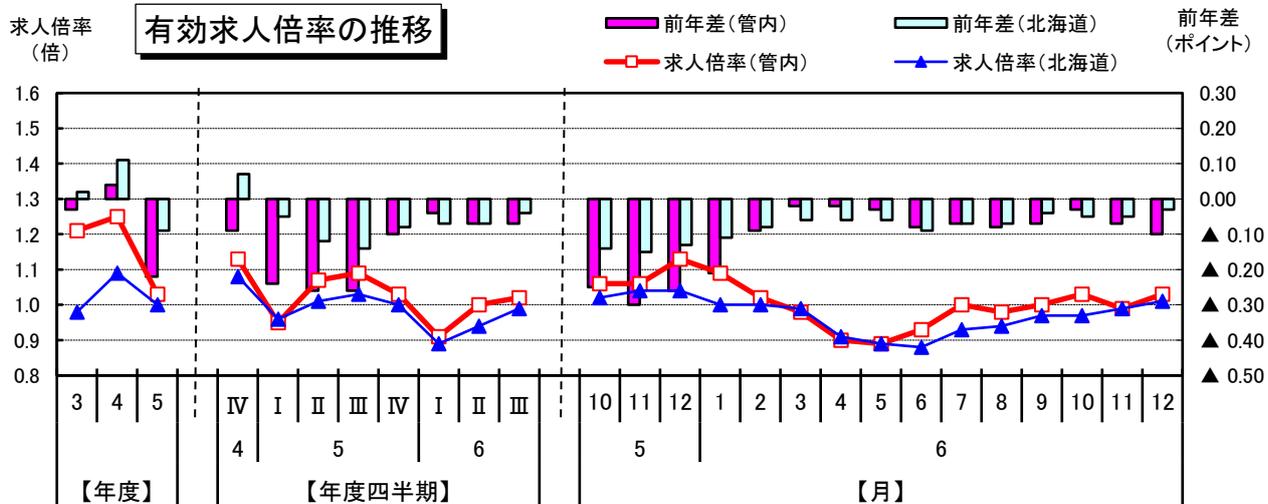
雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求人数が前年を下回ったことから、有効求人倍率は前年を下回っている。

職業紹介状況

(単位：人、%、倍、ポイント)

年 月	一般（パートを含む常用）											新規高卒者 就職内定状況			
	新規求職申込件数		新規求人数			うちパート		月間有効求職者数		月間有効求人数		有効求人倍率		内定率	前年差
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年差			
3年度	11,462	4.1	24,998	3.5	7,072	▲ 2.8	58,207	7.2	70,422	4.8	1.21	▲ 0.03	100.0	0.3	
4年度	12,249	6.9	26,037	4.2	7,275	2.9	60,263	3.5	75,145	6.7	1.25	0.04	99.8	▲ 0.2	
5年度	12,193	▲ 0.5	22,441	▲ 13.8	6,506	▲ 10.6	62,134	3.1	64,034	▲ 14.8	1.03	▲ 0.22	99.0	▲ 0.8	
5. 10～12	2,605	2.5	5,614	▲ 13.0	1,542	▲ 8.5	14,789	4.6	16,053	▲ 16.0	1.09	▲ 0.26	87.4	▲ 7.5	
6. 1～3	3,336	▲ 4.9	5,470	▲ 7.9	1,622	▲ 9.8	15,244	2.1	15,654	▲ 7.2	1.03	▲ 0.10	99.0	▲ 0.8	
4～6	3,504	▲ 2.3	5,200	▲ 10.2	1,375	▲ 18.5	16,669	▲ 0.6	15,106	▲ 5.3	0.91	▲ 0.04	-	-	
7～9	2,499	▲ 6.2	5,250	▲ 5.7	1,524	▲ 7.9	15,253	▲ 0.5	15,177	▲ 7.4	1.00	▲ 0.07	44.2	▲ 0.8	
10～12	2,339	▲ 10.2	5,110	▲ 9.0	1,344	▲ 12.8	14,633	▲ 1.1	14,903	▲ 7.2	1.02	▲ 0.07	92.2	4.8	
6. 7	873	▲ 1.4	1,866	1.6	542	3.6	5,085	▲ 1.2	5,104	▲ 7.4	1.00	▲ 0.07	-	-	
8	820	▲ 10.3	1,653	▲ 7.9	467	▲ 15.2	5,108	▲ 0.1	5,021	▲ 7.6	0.98	▲ 0.08	-	-	
9	806	▲ 6.9	1,731	▲ 10.5	515	▲ 11.2	5,060	▲ 0.1	5,052	▲ 7.1	1.00	▲ 0.07	44.2	▲ 0.8	
10	891	▲ 10.1	1,936	3.5	572	▲ 1.7	5,054	▲ 0.2	5,205	▲ 3.5	1.03	▲ 0.03	76.7	6.9	
11	763	▲ 12.7	1,499	▲ 11.6	382	▲ 14.9	4,910	▲ 1.4	4,875	▲ 7.7	0.99	▲ 0.07	86.4	6.2	
12	685	▲ 7.4	1,675	▲ 18.3	390	▲ 23.7	4,669	▲ 1.5	4,823	▲ 10.4	1.03	▲ 0.10	92.2	4.8	

(注) 新規高卒者就職内定状況の年度欄は各3月末の計数、四半期欄は各期末の計数。



<資料：帯広公共職業安定所>

6. 観光・・・緩やかに持ち直している

市内ホテル宿泊客数は前年を下回っているものの、十勝川温泉観光客入込み数は前年並みであるほか、空港降客数は前年を上回っており、緩やかに持ち直している。

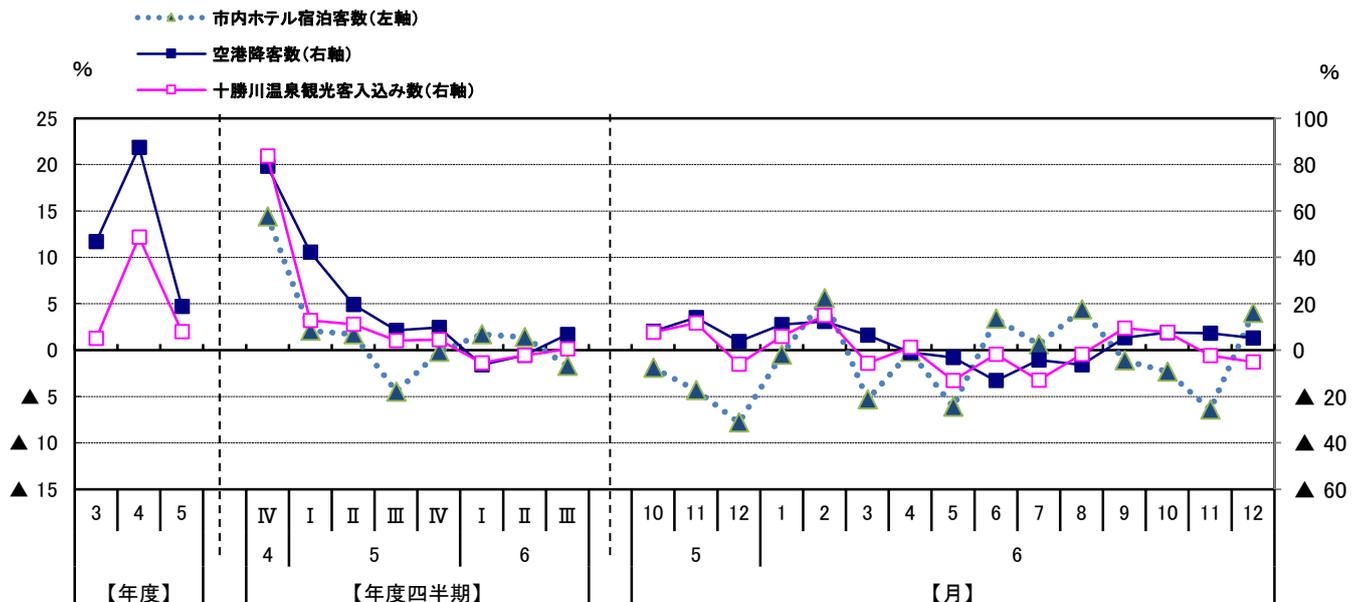
観光

(単位：人、%)

年 月	帯広空港利用状況(降客数)					十勝川温泉観光客入込み数(宿泊客等)				市内行ル 宿泊客数 前年比	
	合 計	前年比	定期便		不定期便	合 計	前年比	宿 泊 客			
			前年比	前年比				前年比	前年比		
3年度	147,373	46.8	146,836	46.2	537	-	168,717	5.0	152,545	1.9	r
4年度	276,139	87.4	274,534	87.0	1,605	198.9	250,860	48.7	233,640	53.2	
5年度	327,926	18.8	327,027	19.1	899	▲ 44.0	270,900	8.0	252,177	7.9	
5. 10~12	78,451	8.4	78,451	9.4	-	全減	64,846	4.1	60,526	5.1	▲ 4.5
6. 1~3	74,819	9.7	74,694	9.5	125	全増	68,102	4.5	62,750	1.9	▲ 0.2
4~6	73,264	▲ 6.4	73,264	▲ 6.4	-	-	57,099	▲ 5.5	52,757	▲ 6.9	r 1.7
7~9	94,219	▲ 2.2	92,668	▲ 3.0	1,551	100.4	75,732	▲ 2.3	71,215	▲ 1.4	1.4
10~12	83,728	6.7	83,364	6.3	364	全増	65,143	0.5	60,758	0.4	▲ 1.7
6. 7	28,828	▲ 4.3	28,828	▲ 4.3	-	-	23,241	▲ 13.0	22,133	▲ 13.1	r 0.6
8	34,930	▲ 6.3	33,551	▲ 8.1	1,379	78.2	27,065	▲ 1.8	25,717	▲ 2.1	r 4.4
9	30,461	5.3	30,289	4.7	172	全増	25,426	9.5	23,365	14.1	▲ 1.1
10	31,031	7.6	30,667	6.3	364	全増	25,897	7.7	24,122	8.7	▲ 2.3
11	27,064	7.3	27,064	7.3	-	-	20,463	▲ 2.4	19,186	▲ 4.1	▲ 6.4
12	25,633	5.2	25,633	5.2	-	-	18,783	▲ 5.2	17,450	▲ 4.9	4.0

(注) 十勝川温泉観光客入込み数について令和3年4月以降対象先が1社減となったため、以前の数値とは連続性がない。

空港降客数及び十勝川温泉観光客入込み数,市内ホテル宿泊客数



<資料：北海道エアポート(株) 帯広空港事業所、音更町（主要旅館5社）、日本銀行釧路支店帯広事務所>

7. 金融…貸出金残高は前年を上回る

金融機関の貸出金残高（銀行・信用金庫・信用組合ベース）をみると、事業者向け、個人向けともに前年を上回っている。

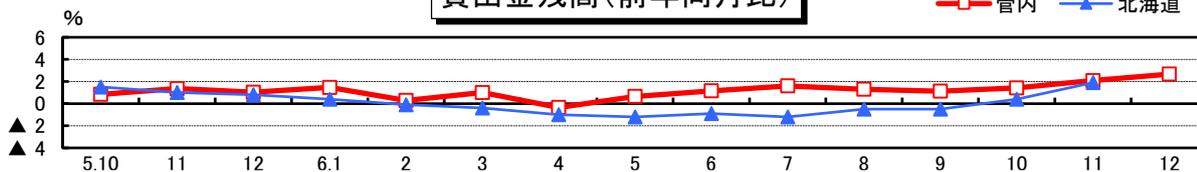
金融

（単位：百万円、％）

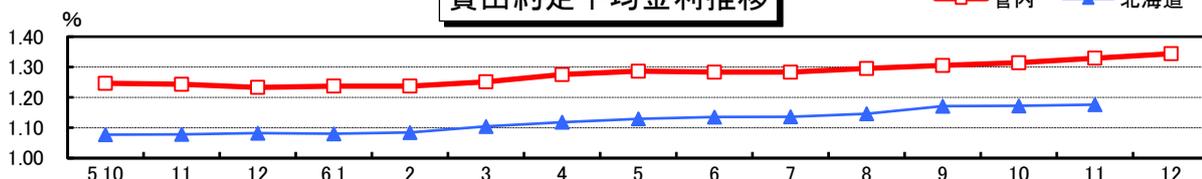
年 月	貸出金残高		事業者向け貸出					個人		地方公共団体		
	前年比		前年比		設備	前年比	運転	前年比	前年比		前年比	
3. 12 末	859,950	1.2	518,500	0.6	193,971	1.7	324,529	▲ 0.1	270,893	3.2	70,547	▲ 1.5
4. 12 末	874,180	1.7	524,299	1.1	199,217	2.7	325,082	0.2	278,637	2.9	71,239	1.0
5. 12 末	883,155	1.0	527,599	0.6	209,630	5.2	317,969	▲ 2.2	285,019	2.3	70,531	▲ 1.0
6. 7 末	858,210	1.6	496,843	1.8	211,510	4.9	285,333	▲ 0.4	288,051	2.4	73,310	▲ 2.6
8 末	861,127	1.3	499,229	1.3	212,383	5.3	286,846	▲ 1.5	288,685	2.2	73,205	▲ 2.2
9 末	869,341	1.1	511,653	1.5	211,462	2.1	300,191	1.1	289,319	2.0	68,363	▲ 4.9
10 末	872,836	1.4	514,204	1.5	211,104	1.8	303,100	1.4	290,064	2.1	68,564	▲ 2.4
11 末	885,222	2.1	521,737	1.8	212,636	2.1	309,101	1.7	290,991	2.2	72,490	3.4
12 末	906,696	2.7	542,881	2.9	212,697	1.5	330,184	3.8	291,374	2.2	72,436	2.7

年 月	預金残高		要求払		定期性		貸出約定平均金利
	前年比		前年比		前年比		
3. 12 末	1,688,789	3.7	1,162,684	6.1	523,087	▲ 1.2	1.239
4. 12 末	1,725,972	2.2	1,209,649	4.0	513,383	▲ 1.9	1.223
5. 12 末	1,732,461	0.4	1,233,547	2.0	496,390	▲ 3.3	1.233
6. 7 末	1,730,450	1.2	1,238,282	3.1	490,015	▲ 3.1	1.283
8 末	1,728,929	1.0	1,241,331	2.9	485,476	▲ 3.5	1.295
9 末	1,718,104	0.3	1,233,519	2.2	482,520	▲ 4.3	1.305
10 末	1,720,545	0.2	1,236,136	1.9	482,316	▲ 3.8	1.314
11 末	1,737,823	1.7	1,251,772	4.1	483,840	▲ 3.8	1.329
12 末	1,745,830	0.8	1,262,396	2.3	481,164	▲ 3.1	1.344

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注1) グラフは、管内・北海道とも銀行・信用金庫・信用組合ベース。

(注2) 「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。

<資料：北海道財務局、帯広財務事務所>

8. 企業倒産…前年同期を下回る

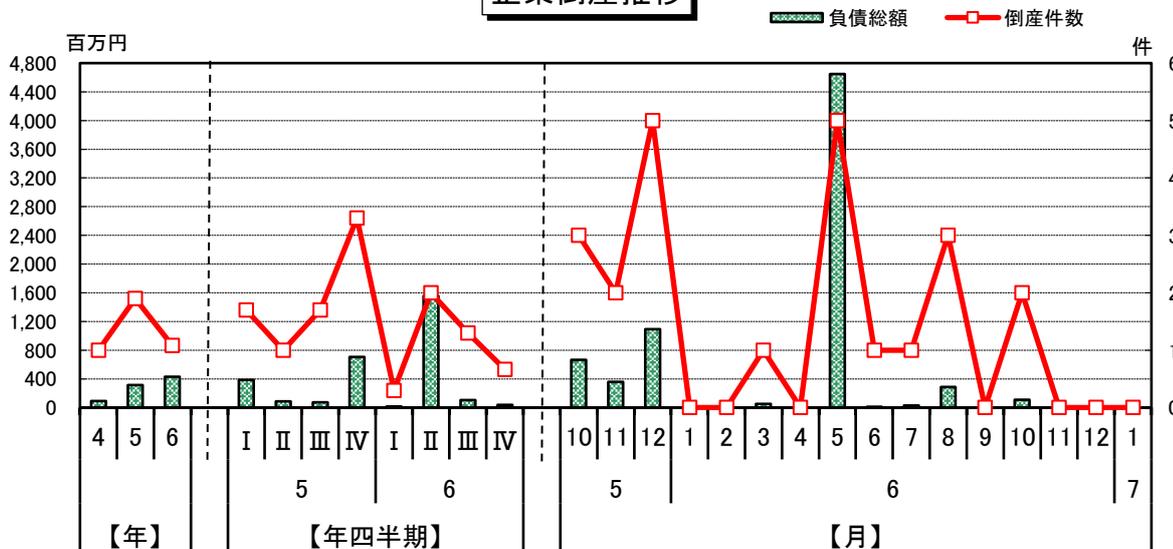
企業倒産は、件数・負債総額ともに前年同期を下回っている。

企業倒産(負債総額1千万円以上)

(単位:件、百万円、%)

年月	件数		建設業	製造業	卸・小売業	運輸・通信業	サービス業	その他	負債総額	
		前年比								前年比
4年	12	100.0	3	1	-	2	4	2	1,069	98.3
5年	23	91.7	2	4	6	-	9	2	3,748	250.6
6年	13	▲ 43.5	2	-	3	-	5	3	5,134	37.0
5. 10~12	10	400.0	2	1	3	-	2	2	2,115	3,104.5
6. 1~3	1	▲ 80.0	-	-	-	-	1	-	50	▲ 95.6
4~6	6	100.0	-	-	1	-	2	3	4,661	1,658.9
7~9	4	▲ 20.0	1	-	1	-	2	-	315	43.2
10~12	2	▲ 80.0	1	-	1	-	-	-	108	▲ 94.9
6. 7	1	-	-	-	-	-	1	-	27	▲ 10.0
8	3	50.0	1	-	1	-	1	-	288	260.0
9	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
10	2	▲ 33.3	1	-	1	-	-	-	108	▲ 83.7
11	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
12	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
7. 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

企業倒産推移



(注) 年、四半期は月平均。

<資料: (株)東京商工リサーチ>

【個人消費】

- ・物価高により節約志向が強まっており、広告に掲載されている特売品を中心に購入するなど、安いものを選ばれている。(食料品スーパー)
- ・日常的に使うものを節約している反面、年末などのイベント時にはいいものを買おうとする意識も見られ、高価格帯のものが売れるといった動きもある。(食料品スーパー)
- ・気温は順調に低下したものの、降雪がなく防寒服が苦戦し、高価格帯の婦人衣料の苦戦が続いた。(大型小売店)
- ・高級ブランドへの支出が大きく減らされていると感じる。(大型小売店)
- ・全般的に高価格帯商品の動きが良い。指定価格制度の導入が広がっていることも要因の一つだが、物価高が続く中で日用品は節約しつつ、テレビや白物家電など長期間使うものは高価格の良質なものを購入する動きがみられる。また、電気料金の高騰により節電に繋がる製品が意識されており、価格が高くても節電能力の高いものを選ばれる傾向にある。(家電量販店)
- ・エアコンについては前年の需要増の反動減がみられた一方で、インフルエンザとコロナウイルスの同時流行に備え、加湿器と空気清浄機の動き出しが早く、好調だった。(家電量販店)
- ・10-12月は各メーカーの認証不正問題により、生産・受注が止まっていた影響で登録が進まず前年を下回った。また、物価高が続いているため新車の購入に慎重になっている面も見受けられる。(一般社団法人)
- ・地域柄、車が生活必需品なため消費マインドは低下しにくい。(乗用車販売店)

【観光】

- ・インバウンドが増加傾向にある。北海道と海外を結ぶ飛行機が増えたため、十勝にも一部インバウンドが訪れている。(一般社団法人)
- ・帯広の底堅いビジネス需要のほか、土日祝の観光需要が徐々に高まっていると感じている。(宿泊業)
- ・12月は風邪が流行したため予約のキャンセルが多々あった。(宿泊業)

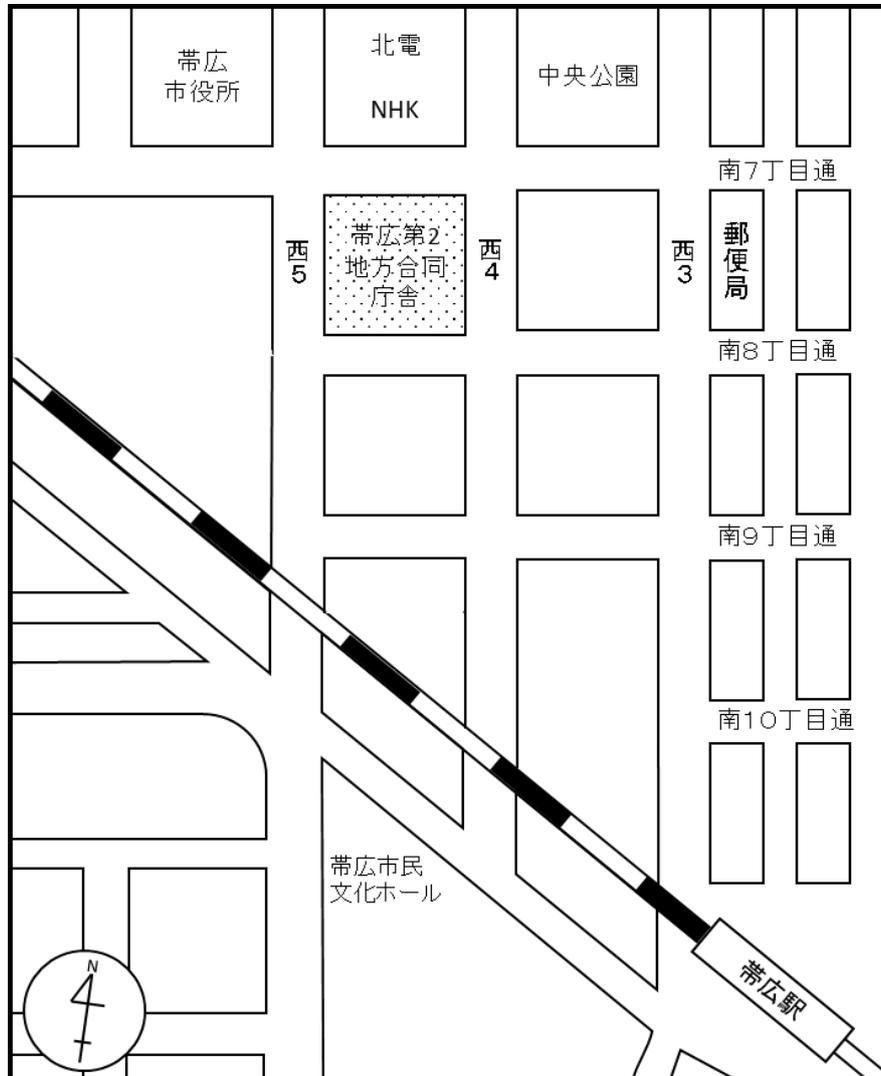
【住宅建設】

- ・新築戸建ては建築コストの高止まりなどにより減少基調に変わりはなく、モデルハウスのイベント会場への来場者数も減少傾向にある。若年層の間では中古住宅の購入も選択肢に入っており、リフォーム・リノベーションの需要も増えているほか、坪数を減らすなどして新築の価格を抑える動きもみられる。(建設業)

【雇用】

- ・引き続き企業側で採用の人数調整を行っていると思われるほか、民間求人会社など他の媒体を活用する動きもあり、企業の選択肢が増えている。(公的機関)
- ・人手不足の状況は変わらず、特に新卒採用が厳しい。パートの不足も続いており、引き続き隙間バイトアプリを活用しつつ、ギリギリの状況で運営している。(食料品スーパー)
- ・新入社員の初任給を上げてにもかかわらず、学生はさらに給与の高い札幌圏に目を向けている。(建設業)

本誌に関するご意見、ご要望はお気軽に
下記までお寄せ下さい。



帯広財務事務所 財務課

〒080-0015

帯広市西5条南8丁目

帯広第2地方合同庁舎

TEL 0155(25)6381

ご意見・ご要望はこちらへお寄せ下さい。

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/mailform/hokkaido.php>